

# すこやか 安心カードか 庁舎1階に発行機

## 久御山町 民生教育常任委で報告

久御山町議会民生教育常任委員会(塚本五三蔵委員長)が13日に開かれ、9月定例会に提案された一般会計補

正予算など所管の事務調査が行われたあと、協議会に移り各課からの報告があった。

うち、民生部長寿健康課からは、地域共通

「すこやか安心カード」発行機の設置

について報告。11月1日からNPO日本サ

ステイナブル・コミュニティー・センターが開発

したカードの発行機1台を庁舎1階ロビーに

設置する。

カードは、1枚の診察券で複数の医療機関

(病院、診療所、調剤薬局)を受診など出来る

もので、同センターが総務省の補助のもと、

府内3市1町(京都市、宇治市、城陽市、久御山

町)と連携し、地域内の対応医療機関であれ

ばこのカード1枚で共通の診察券として利

用できるものであり、これまでのように何枚

も持ち歩く必要がなくなる。

アイマスクを使った疑似体験で階段を下りる生徒たち

「授けられた方出しもしもッし」

松永さんは「助けてもらえないこともまだまだあります」。その上で「助けてくれる人々を増やすには正しく理解してもらおうこと。助けてもらったら本当に僕たちは助かるということを言い続けたら、この中からも助けてくれる人が増えるのが目的です」と話し、心に響く授業を体験した生徒の成長に期待した。

引き続き、生徒たちはアイマスクを付け、白杖(はくじょう)を使いながら、2人1組で視覚障害の疑似体験を行った。視界が遮られる中、手引きする仲間のかげ声を頼りに校内を歩き、「階段では上りより下りの方が怖かった」などと感想を出し合った。

域を超えて複数の医療機関を受診することも多く、カードが有効活用されると判断し、発行機の設置依頼について協力していくという。

また、教育委員会からは、12年度町立3幼稚園児の入園募集について説明があった。3歳児については、佐山と東角が各40人、御牧が20人となっており、4・5歳児については3園とも若干名となっている。申し込みは、10月3日から14日までに申請書を希望する幼稚園に提出すればよい。

このほか第45回町民運動会は10月10日に町中央公園野球場で、11月5、6日は、町中央公民館と周辺で第26回国文祭と第36回町民文化祭を開催。5日は、テレビでもお馴染みの食文化はやらし隊代表の林裕人シェフが来場し、地元産の食材を使ったレシビ紹介ステーションが予定されている。